

power SCRAMBLE

■ 澤選手 世界 18

連覇を報告

資料提供：澤千代美

5月成田市で開催された世界ベンチプレス選手権大会で、世界18連覇を達成された澤選手が、地元八王子市役所を訪問、20連覇まで頑張ります。これからは、軽いクラスにも挑戦、他階級でも世界記録を塗り替えていきたい、と、抱負を語られた。

世界ベンチプレスV18 沢さん 喜び報告



金メダルを腕にかけ笑顔で力こぶをつくる沢さん
(八王子市役所で)

千葉県成田市で行われた世界ベンチプレス選手権大会で18連勝と世界記録樹立を果たした八王子市横川町の元同市職員、沢千代美さん(69)が5日、同市役所に石森孝志市長を訪ね、優勝を報告した。

ベンチプレスはあおむけの姿勢でバーベルを差し上げる競技。沢さんはこの大会から最高齢部門の84キロ級に初挑戦した。エントリー

は沢さん1人で、115キロの試技に成功し、優勝を決めた。同部門は挑戦者が少なく、設立されてから日が浅い。そのため公認記録がなく、今回の沢さんの優勝記録が世界記録と認められた。

沢さんは「20連覇まであと少し。次回から減量して年々軽いクラスに挑戦し、体重ごとの記録も塗り替えたい」と抱負を語った。

power

S R A M L E

■ 沖縄新聞

資料提供：

沖縄県、**盛龍也**

柔道の2019日本ヘテランズ国際大会・第16回日本マスターズ大会は18、19の両日、揮井県立武道館で行い、M7(60〜64歳)100キ以下級の盛龍也(60)が3位入賞した。3年前にM6(55〜59歳)に出場してから3年連続の3位。盛は万年3位は不本意だが、まだまだやれると実感した大会だったと現役ぶりをアピールした。

盛は22日、那覇市泉崎の琉球新報社を訪れて結果を報告した。進決勝は優勝した田村省一(滋賀)に四方固めで一本負けした。二本負けしたのは久しぶり、強かったねと悔しさをにじませた。

3月に沖縄刑務所を定年退職した後も筋トレを欠かさず、柱に帯をくくりつけての「打ち込み」などで鍛錬してきた。

衰え知らずの60歳は「来年は一つでも順位を上げたいね」と力強く目標を話した。

柔道・日本マスターズ 60歳盛(100キ以下) 3位



日本マスターズ柔道大会で3位に輝いた盛龍也＝22日、那覇市泉崎の琉球新報社

パラメダリストがタッグ

上与那原寛和(48) 車いすマラソン

パラリンピックのメダリスト同士のタッグを組んだ。2008年北京平昌パラリンピックの車いすマラソン(男子)銀メダルの上与那原寛和(48)が、ウエルチエアーラグビーの指導者仲里進(48)に加入した。16年リオデジャネイロパラリンピックの仲里進は、日本選手権3連覇中の強豪ながら一時1人以外の選手が昨年5月に入賞し、チーム存続の危機を多く仲里の動向に上与那原はラグビーで競力を養って陣にも生かそう手を洗っている。

(運動部・神山学)

ウィルチエアーラグビーに加入

仲里と共に汗 瞬発力養う



ウィルチエアーラグビーに挑戦する上与那原寛和(左)。右は指導する仲里進＝5日、サン、アビリティーズうらそえ(神山学撮影)

茨城国体 パワーリフティング



県勢初日本一に期待

パワーリフティングは、かつては男子が中心だったが、近年は女子の活躍が目立ち、競技人口も増加している。茨城県では、この競技の普及が盛んになり、県勢が日本一に期待されている。

競技者の中には、長年この競技に取り組んでおり、高いレベルで活躍している選手もいる。県内各地で開催される大会を通じて、選手同士の交流も活発に行われている。

また、指導者の役割も非常に重要で、選手の成長を支えている。今後の大会に向けて、選手たちは万全の準備を整えている。